

『令和3年度夏季特別展 大加州刀展図録』（1版）記載内容の訂正とお詫び

下記の通り資料の基本情報と読解にあたり支障をきたす箇所の訂正および補遺をお知らせいたします。
みなさまにはご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫びし、訂正いたします。

正誤箇所	誤	正	備考
出品番号1・2・4・5・5-附・53・90 所蔵者	一般財団法人 秋水美術館蔵	リードケミカル株式会社蔵	
4頁	(記載なし)	刀剣分野においては「桃山時代」という時代区分について必ずしも定まった解釈はないが、本書では慶長・元和年間を「桃山時代」とする例に準じる。	この例に従い、出品番号48～55にかけて適宜、年代および解説の表記を改めた。
7頁 本文18行目	貞和五年（一三四五）	貞和五年（一三四九）	
7頁 本文18行目	応永八年（一四〇八）	応永八年（一四〇一）	
9頁 本文4行目	嘉吉（一四四〇～四〇）頃	嘉吉（一四四一～四四）頃	
9頁 本文11行目	光圀	光国	
9頁 本文17行目	洲崎浩二	洲崎幸次	
10頁 本文24行目	宝永八年（一七一―）	正徳元年（一七一―）	
12頁 参考文献	日本美術刀剣石川県支部	日本美術刀剣保存協会石川県支部	
37頁 上段13行目	差す	指す	
37頁 上段17行目	幕府	徳川家	
38頁 上段5行目	「浪士文久報告記事」	「浪士文久報国記事」	
38頁 上段8行目	天保十三年（一八四四）	天保十三年（一八四二）	
38頁 上段22行目	「浪士文久報告記事」	「浪士文久報国記事」	
38頁 上段23行目	四人名	四名	
67頁 1行目	在来の藤嶋友重	在来の清光	
100頁 上段23行目	父の十六代助次郎	父の十六代清次郎	
103頁 出品番号80 資料名称	刀 銘 [表] 北藩藤原大寿作 [裏] 田中半蔵正方佩刀	刀 銘 [表] 北藩藤原大壽作 [裏] 田中半蔵正方佩刀	
110頁 出品番号86 指定文化財区分等	(記載なし)	重要刀装	
120頁 出品番号90 年代	江戸時代	江戸時代後期（一九世紀）	
147頁 本文20行目～ 148頁 本文1行目	刀工の活躍時期や代別、由来などを知る手掛かりとなるものに、郷土史料として加越能鍛冶系図がある。これにはイ『加越能鍛冶系図』（加越能鍛冶集）・ロ『加越能鍛冶系図』（「三州刀匠系図」又新齋日録ノ二）・ハ『古今加越能鍛冶系図』などがあり、イとハは表記方法が多少異なるが同内容となり、ハは先の二様と比べ、初代の時代設定を下げていて、朱書きによりイ・ハの年代設定などを加筆しているところが異なる。	刀工の活躍時期や代別、由来などを知る手掛かりとなるものに、郷土史料として「加越能鍛冶系図」がある。これには系図イ「加越能鍛冶集」・系図ロ「三州刀匠系図」（仮題・又新齋日録系図）・系図ハ「古今加越能鍛冶系図」などがあり、本稿では系図イ・ロ・ハをまとめて「加越能鍛冶系図」と総称する。系図イ・ハは表記方法が多少異なるが同内容となり、系図ハは先の二様と比べ、初代の時代設定を下げていて、系図ロは朱書きによりイ・ハの年代設定などを加筆しているところが異なる。	
148頁 本文22～23行目	これは寛文九年（一六六九）六月、領内に大洪水の発生による収獲減に伴う大被害となり飢饉に見舞われる。	この調査に至る背景として、寛文九年（一六六九）六月、領内にて大洪水が発生、収獲減に伴う大被害となり飢饉に見舞われたことがあると思われる。	
149頁 8行目	「(外題) 加越能鍛冶系図」	「加越能鍛冶系図」	
150頁 9行目	鍛冶系図	「加越能鍛冶系図」	
153頁 20～22行目	この時期は利長が富山に在ったのは利長が慶長二年（一五九七）に越中守山から富山に移って加賀藩主として金沢入りの三年までの間か、または慶長十年隠居の後、富山へ移ってから同十四年までとなる。	利長が富山に在ったのは、慶長二年（一五九七）に越中守山から富山に移って加賀藩主として金沢入りした同三年までの間か、または慶長十年の隠居の後、富山へ移ってから同十四年までとなる。	

正誤箇所	誤	正
153頁 25行目	鍛冶系図	両系図
154頁 16行目	鍛冶系図での初代「泉村住人」とすることは確かなこととして頷くことができる。	「加越能鍛冶系図」で初代を「泉村住人」とすることは確かなこととして頷くことができる。
156頁 註 [5]	「加越能鍛冶畧傳」	「加越能刀鍛冶畧傳」
156頁 註 [6]	宇都宮性は	宇都宮姓は
156頁 註 [8]	鍛冶集は『加越能鍛冶系図』・『式(朱書)』(表紙・題簽)に所収され、「加越能鍛冶集」と題し、古刀期から新刀期にかけての各刀工の系図や刀工名を載せる。奥書に「貞享四卯歳三月撰之」とあり、一六八七年の成立とみられる。これは加賀藩での刀鍛冶の調査によるもので、金沢の刀鍛冶分は町奉行岡田七右衛門、石動は篠嶋豊前守、高岡は辻又三郎(友治)・小菅半兵衛、小松は村小左衛門(政信)の各町奉行、郡方は御郡奉行の主動で調査、編集されたもの。『加越能鍛冶系図』一冊の冒頭には鍛冶の由来が記される。「加越能文庫」、金沢市立玉川図書館蔵)。	『加越能鍛冶系図』(金沢市立玉川図書館蔵、「加越能文庫」一六・九五-一六)は全三冊からなり、その内「加越能鍛冶系図」と外題のある一冊は冒頭に鍛冶の由来、次いで系図イを所収する。系図イは、古刀期から新刀期にかけて各刀工の系図や刀工名を載せ、奥書に「貞享四卯歳三月撰之」とあり、一六八七年の成立とみられる。これは加賀藩による刀鍛冶の調査で、金沢の刀鍛冶分は町奉行岡田七右衛門、石動は篠嶋豊前守、高岡は辻又三郎(友治)・小菅半兵衛、小松は村小左衛門(政信)の各町奉行、郡方は御郡奉行の主導で調査、編集された。
159頁 出品番号5 解説10行目	三文字紋	三字紋
163頁 出品番号15 解説9行目	慶長(一五九六)以前の	慶長以前の
163頁 出品番号17 解説8行目	受領名	受領銘
165頁 出品番号20 解説13行目	一応に明るい	一樣に明るい
165頁 出品番号21 寸法	反り一・九cm	反り二・六cm
167頁 出品番号26 解説9行目	「加越鍛冶系図」	「加越能鍛冶系図」
167頁 出品番号28 伝来	(記載なし)	本多政重所用
170頁 出品番号35 年代	江戸時代 延宝七年(一六七九)	江戸時代前期 延宝七年(一六七九)
170頁 出品番号36 解説2行目	家平(いえただ)	家平(いえひら)
170頁 出品番号36 解説6行目	「加越能鍛冶略伝」	「加越能刀鍛冶略伝」
171頁 出品番号36 解説17行目	承応四年(一六五五年)	明暦元年(一六五五)
171頁 出品番号37 解説13行目	五代藩主前田綱紀	五代前田綱紀
172頁 出品番号39 解説6行目	改名	改銘
172頁 出品番号40 伝来	(記載なし)	瑞龍寺奉納刀
173頁 出品番号44 解説3行目	改名	改銘
173頁 出品番号44 解説4行目	「加越能鍛冶略伝」	「加越能刀鍛冶略伝」
177頁 出品番号53 指定文化財区分等	(記載なし)	重要刀剣
177頁 出品番号54 伝来	(記載なし)	本多図書家家老・高橋家伝来
177～178頁 出品番号55 解説21～22行目	大正五年(一九一)	大正五年(一九一六)
179頁 出品番号58 解説2～3行目	箱乱様の刃文は父初代兼若の晩期にあたる	箱乱様の刃文は初代兼若が「兼若」銘を使用した晩期にあたる
179頁 出品番号60 資料名	(金象嵌)一尺四寸三分劔	(金象嵌)一尺四寸三分劔
182頁 出品番号66 解説12～13行目	匂深く沸叢が殆ど見られず、	匂深く、一部を除いては沸叢が殆ど見られず、
182頁 出品番号68 解説6行目	宝永八年	正徳元年
183頁 出品番号69 解説4行目	功名	巧妙
183頁 出品番号70 年代	江戸時代前期(一七世紀)	江戸時代前期(一七世紀後半)
183頁 出品番号70 解説3行目	宝永八年(一七一一)	正徳元年(一七一一)
183頁 出品番号71 年代	江戸時代前期(一七世紀)	江戸時代前期(一七世紀後半)
185頁 出品番号76 伝来	(記載なし)	今枝家伝来

正誤箇所	誤	正
186 頁 出品番号 79 資料名	於町會所	於町會所
186 頁 出品番号 79 年代	江戸時代後期	江戸時代後期
187 頁 出品番号 81 茎	鑢目切出しは殆ど切とて、下は大筋違、	極僅かに勝手下り、
187 頁 出品番号 82 地	(記載なし)	地 板目つみ、細かな流れ交え、地沸細かにつき、やや肌立つ
187 頁 出品番号 82 帽子	板目つみ、細かな流れ交え、地沸細かにつき、やや肌立つ。	直ぐに、浅くのたれ、先丸く、やや深く返る。
188 頁 出品番号 86 指定文化財区分等	(記載なし)	重要刀装
189 頁 出品番号 86 解説 3 行目	容彫 (かたぼり)	容彫 (かたちぼり)
189 頁 出品番号 87 寸法	総長九〇・〇 cm 柄長二〇・七 cm 鞘長六八・七 cm	総長六六・一 cm 柄長一七・四 cm 鞘長四九・〇 cm
189 頁 出品番号 88 解説 10～11 行目	白澤凶打刀拵	白澤打刀拵
189 頁 出品番号 89 兜金・縁	海部文様	海賦文様
190 頁 出品番号 89 解説 3・7 行目	海部文様	海賦文様
190 頁 出品番号 90 指定文化財区分等	(記載なし)	重要刀装具
199 頁 出品目録 53 指定文化財区分等	(記載なし)	重要刀剣
201 頁 出品目録 80 資料名	銘 [表] 北藩藤原大寿作	銘 [表] 北藩藤原大壽作
201 頁 出品目録 86 指定文化財区分等	(記載なし)	重要刀装
202 頁 出品番号 90 年代	江戸時代	江戸時代後期 (一九世紀)
204 頁 刀剣・刀工 参考文献	(記載なし)	金沢市立玉川図書館近世資料館『金沢市図書館叢書 (五) 温故集録二』(金沢市立玉川図書館近世資料館、二〇〇五年)
204 頁 刀剣・刀工 参考文献	(記載なし)	田中喜男『定本 加賀藩被差別部落関係史料集成』(明石書院、一九九五年)
205 頁 コラム「加賀の刀装具」参考文献	(記載なし)	若山泡沫『金工事典』(刀剣春秋新聞社、一九九九年)
206 頁 協力者一覧	(記載なし)	リードケミカル株式会社